キリスト教専門クラウドファンディングサイト

プロジェクト成功のための

虎の巻

目次

クラウドファンディングについて 3
クラウドファンディングとは？ 4
クラウドファンディングのメリット 4
資金が問題で実現が難しかったことが実現出来る 4
支援者にもメリットがある 4
プロジェクトの前に 5
明確なビジョンを持とう 6
プロジェクトチームを作ろう 6
目標金額は正確に、誠実に計算しよう 6
「支援者３分の１の法則」を知ろう 6
リターンの準備をしよう 6
プロジェクトを公開しよう 8
タイトル 9
画像 9
概要 9
本文 9
期間の設定 9
プロジェクトを公開したら 10
スタートダッシュが大事　SNS や人脈を使って出来る限りシェアしましょう。 11
SNS をおおいに活用しよう 11
終了後のコミュニケーションで関係性を維持しましょう。 11

LUKE13:19
KARASHIDANE

クラウドファンディングについて

クラウドファンディングとは？

クラウドファンディングとは群衆(crowd)と資金調達(funding)をかけ合わせた造語で、インターネットを通じて多くの人から、プロジェクトのために資金を集めることができる仕組みのことです。

クラウドファンディングのメリット

資金が問題で実現が難しかったことが実現出来る

ビジョンがあっても経済的な理由で今まで実現することが難しかったプロジェクトやミニストリーの資金を集める事が出来ます。
またプロジェクト自体が日本、世界に向けて広く発信され、認知される事で資金を集めるだけではなく様々なサポートを受けやすくなります。

支援者にもメリットがある

クラウドファンディングのメリットは企画者だけではなく、支援する側にも様々なリターンを受け取ることができます。
支援者は商品やプロジェクトの情報を受け取ることによって、プロジェクトの一部を担うことになり、一緒に企画の成長を共有する機会を手にすることができます。

LUKE13:19
KARASHIDANE

プロジェクトの前に

－事前準備をしっかりしよう－

LUKE13:19
KARASHIDANE

明確なビジョンを持とう

プロジェクトの公開前から、クラウドファンディングは始まっています。
まずは、プロジェクト（ビジョン）を明確化しましょう。
企画をより多くの人に理解してもらい、支援していただけるよう、目的の明確化を行いましょう。

プロジェクトチームを作ろう

写真撮影や動画制作、PR・SNS 運用など、プロジェクトのために必要な事は多岐に渡ります。
可能であれば、すべてを一人で行うのではなくプロジェクトにおける様々な役割を分担できるチームを作りましょう。

※４人以上のチームで行ったプロジェクトは、１人だけで行ったプロジェクトよりも
７０％多くの資金を集めらるというデータがあります。

目標金額は正確に、誠実に計算しよう

プロジェクト終了後に支援金が足りない！ということがないように、必要な金額の見積もりをとりましょう。
クラウドファンディングで達成した全ての金額をプロジェクトに充てられる訳ではありません。
① リターン制作にかかる費用を考えましょう
② リターンの送料も視野に入れましょう
③ KARASHIDANE の手数料も計算しましょう

クラウドファンディングでは信用が大切です。プロジェクト実現のために最低限必要な金額であるか、誠実さが共感されるかも確認しましょう。

【目標金額の考え方】
リターンの平均金額×想定される支援者数＝目標金額

「支援者３分の１の法則」を知ろう

成功しているプロジェクトの多くは、最低 1/3 は企画者の直接の友人や知人からお金を集めているというデータがあります。支援者(知人)それぞれの想定支援金額を計算し、目標の 1/3 に到達しているかを確認し、達成していない場合は、事前に支援してくれる人を増やす、または目標金額の見直しをしましょう。

リターンの準備をしよう

LUKE13:19
KARASHIDANE

・「どんな人がこのリターンに支援してくれるか」を考えましょう
・送料、消費税込みの金額を設定しましょう
・リターンの数は多めに準備し、様々な支援者に対応できるようにしましょう
・リターンが「物」の場合、内容を詳細に記入しましょう
・グッズやプロダクトの場合はサイズや大きさを記載しましょう
・合わせて画像があるとよりイメージがつきやすいです
・支援者になってくれそうな人にリターン設定（内容、金額が的確かどうか）のフィードバックもらいましょう

リターン例

「記念品」	プロジェクトを実行する過程で制作されるもの
「グッズ」	プロジェクトの PR に利用するノベルティなど
「クレジットタイトル」	プロジェクトへのクレジットタイトルの記載
「お礼・レター」	支援者に直接お礼を伝えたり、レターを出す
「イベント招待」	プロジェクト進行の中で開かれるイベントへの招待
「実物」	プロジェクトの成果として制作するプロダクトそのもの
その他	自分にしか提供できないプレミアムなリターン

LUKE13:19
KARASHIDANE

プロジェクトを公開しよう

LUKE13:19
KARASHIDANE

タイトル

- まずはプロジェクトの顔となる「タイトル」を考えましょう。
- 「どこで」「何を」「誰に」「どうしたいか」を簡潔にまとめ、タイトルを作成します。
- SNS でのシェアで表示されることを前提に、クリックしたくなるようなタイトルをつけましょう。
- 【】、?サブタイトル?などの記号を有効に活用しましょう。

画像

- メイン画像、挿入画像共に３MB 程度の物を用意しましょう。
- タイトルやキャッチコピーなどを入れる工夫をしましょう。
- 人物が映るフリー素材はできるだけ避けましょう。
- 興味をひくような明るい写真を使いましょう。
- 概要に挿入する画像は自身が写っているものも使いましょう。信頼感が増します。

概要

- 概要を５Ｗ１Ｈなどを用いて、「一言で言うと何か」を簡潔に伝えましょう。

本文

- プロジェクトの詳細説明（資金が何にいくら必要か）をしましょう。
- 支援者が知りたい情報は何かを想像してみましょう。
- 文章だけにならないように、写真をうまく活用しましょう。
- 画像と文章は５０％ずつになると良いと言われています。
- 自己紹介、チーム紹介も忘れずに。
- 熱意あるコメントも効果的です。
- 必要に応じてリターンの説明を加えましょう。

期間の設定

- 長ければたくさん支援が集まる訳ではありません。
- PR や活動報告の更新などに集中して取り組むことができる期間で設定しましょう。
- 支援金の入金日から逆算して設定しましょう。
- 募集終了日からリターン履行日までの時間的猶予に注意しましょう。

LUKE13:19
KARASHIDANE

プロジェクトを公開したら

LUKE13:19
KARASHIDANE

スタートダッシュが大事　SNS や人脈を使って出来る限りシェアしましょう。

掲載期間の最初の 1 週間と最後の 1 週間に支援が集中し、プロジェクト初日に支援を多く集められれば成功率が一気に上がるというデータがあります。
「支援者 3 分の 1 の法則」を思い出し、周囲の人や SNS などを通じ可能な限りプロジェクトの紹介、祈祷課題の共有、支援の要請を行い、スタートダッシュに備えましょう。
クラウドファンディングでは達成率を可視化するので、一定の支援が集まると、それが呼び水となり支援に繋がる可能性が広がります。

SNS をおおいに活用しよう

クラウドファンディングを成功させるには、開始前から支援者とのコミュニケーションが欠かせません。オンライン上での支援となるので、オンライン上（SNS）でのコミュニケーションを大いに活用しましょう。
特に、掲載期間の中盤では支援の勢いも中だるみしやすいので、こまめに状況や祈祷課題をシェアし、効果的に宣伝を行いましょう。

終了後のコミュニケーションで関係性を維持しましょう。

クラウドファンディングが成功してもしなくても、支援してくれた人たちとの関係性は、ここをスタートとして深めていくことが大切です。まずはできるだけ早くお礼を伝え、リターンの発送を行いましょう。それ以外にも、プロジェクトの進捗報告や、プロジェクト終了後のレポートなどを報告し、関係性の維持することで、クリスチャンの和を広げることができます。

LUKE13:19
KARASHIDANE